







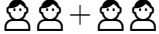








複数校合同チームの編成条件について（例示）

●複数校合同チーム参加規程における『2 条件 ①参加規定 ウ ※3「2 項ともに出場最低人数に足りない場合を基本とするが、どちらか一方の学校において人数を下回っていない場合でも、編成をしなければ救済ができない場合に認めるものである。3 校以上での編成については、その校数が集まらなければチーム編成ができない場合のみとなる。』の解釈

●サッカーを例に（サッカーは 11 人を下回る場合に合同チームを編成することが可能）

			可 否	優 先 順
①	【2 校】 11 人未満どうし	 +  (8) (6)	○	1
②	【3 校以上】 11 人未満どうし	 +  +  (7) (3) (3)	○	2
③	【2 校】 11 人以上+11 人未満	 … +  (11 以上) (11 未満)	○	3
④	【3 校以上】 11 人未満どうし ※ケース①に 11 人未満の学 校を加えるケース	 +  +  (8) (6) (3)	△ ※ 1	4
⑤	【3 校以上】 11 人以上+11 人未満（2）	 … +  +  (11 以上) (11 未満) (11 未満)	△ ※ 2	5

⑥	11 人以上どうし	 … +  … (11 以上) (11 以上)	×
---	-----------	---	---

※1 3 校ともに 11 人未満ではあるものの、うち 2 校の合同で 11 人以上になることから、その 2 校はケース①での対応をしつつ、残る 1 校も①～③の順で対応することとなるが、各区、大阪市内でどう組み合わせても編成できず、残る 1 校を救済できない場合のみ適用することとなる。

※2 各区・大阪市内でどう組み合わせても編成できず、救済できない学校が出る場合のみ適用することとなる。

※優先順位はまず各区内で優先順①～③で編成を、次に大阪市内で優先順①～③で編成を行い、それでも難しい場合、各区内で優先順④～⑤で編成を、次に大阪市内で優先順④～⑤で編成を行う。